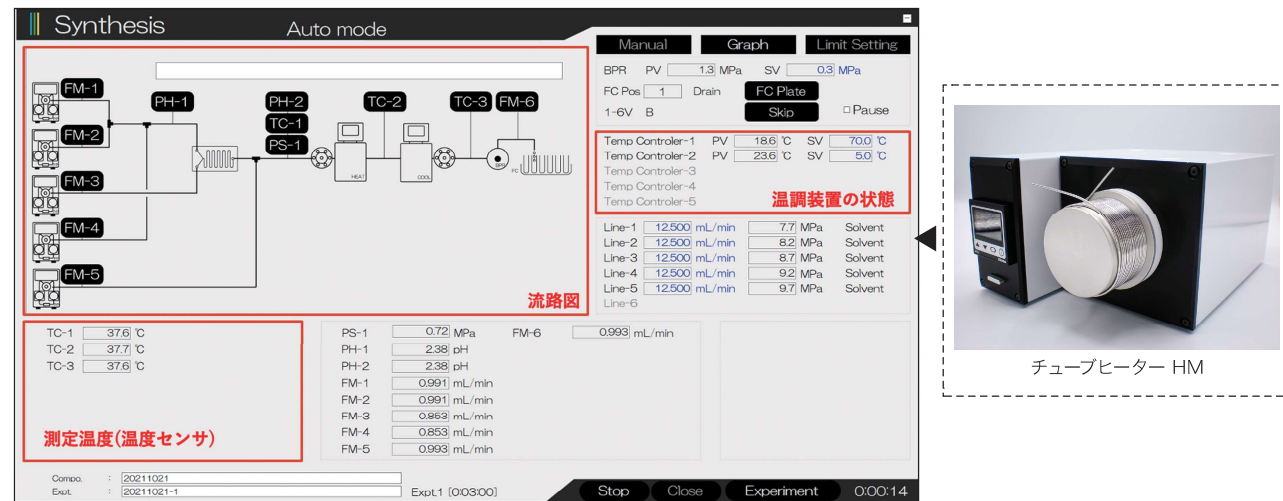


■その他の接続装置

制御ソフトに温調機器設定を標準搭載しており、チューブヒーター（オプション）などの接続が可能です。



※他社の温調機器も使用可能です。ご購入の際はご相談ください。

■構成例 / 販売価格・スペック

	4Line	2Line	3Line（気液、温調追加）
ブランジャーポンプ（PP）	4	2	2
試薬切替ユニット	4	—	2
自動背圧弁（ABPR）	1	1	1
フラクションコレクタ（FC）	1	1	1
マスフローコントローラー	—	—	1
チューブヒーター HM（オプション）	—	—	1
FC ラック（10ml × 50 本）	1	1	1
制御ソフト	4	2	3
制御 BOX（メイン）	1	1	1
装置サイズ	W870×D550×H600mm	W800×D350×H600mm	W870×D600×H600mm
価 格	762 万円～	414 万円～	674 万円～

	仕 様	備 考
PP 流速設定範囲	0.01～99.999ml/min	反応時間から算出
ABPR 設定範囲	0.1～5.0MPa	
フラクションコレクタ（FC）	50 本（10ml）・18 本（50ml）・10 本（110ml）から選択	ラックの仕様により、価格は異なります

※上記の価格は参考価格です。構成によって価格は異なります

プロセス検討用自動合成装置

AltaFlow



プロセス検討用自動合成装置

AltaFlow

— AltaFlow は OptimFlow のノウハウから誕生しました —

AltaFlowの特長

1. ユーザーニーズに合わせた温調、計測機器を接続可能。
2. 1Lineにつき、3〜4本の試薬ボトルを自動切替。
3. 専用ソフトを使用した大容量の合成が可能。



■装置概要と合成の流れ

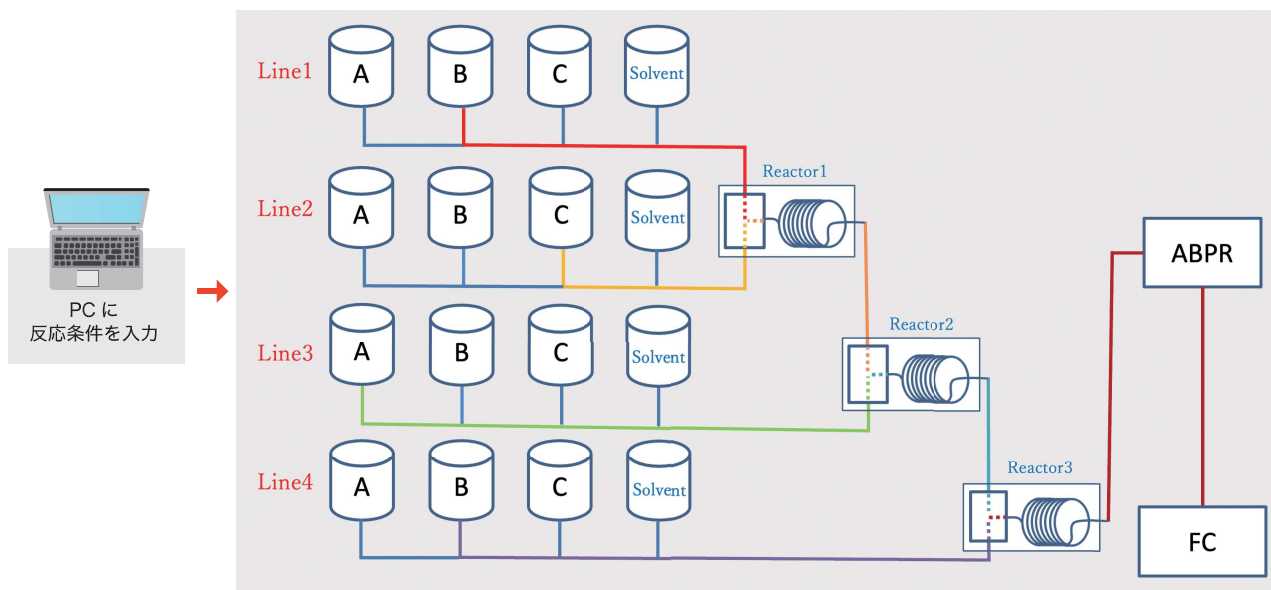
装置の概要

- わずらわしい計算が不要で、自動合成が可能。
- 直感的に操作できる合成ソフトが付属。
- 最大6Line・5リアクタ (5段階反応) による合成を実現。

試薬をセットし、合成ソフトの操作を開始すれば、必要な処理・時間調整・洗浄などのすべてを自動で行えます。

合成の流れ

各ラインごとに 3 種類のサンプル（試薬）から 1 種類を選んで、リアクタで合成します。
Solvent をサンプルに変更することも可能です。



■AltaFlow の優れた機能

1. 詳細な実験値の設定を [Flow Rate] もしくは [Residence Time] の 2 種類選択可能

[Flow Rate] と [Residence Time] の 2 つのうち、用途に合わせて合成条件を設定できます。



【Flow Rate】流量重視

【設定可能】
・流量 (ml/min)



【Residence Time】滞留時間

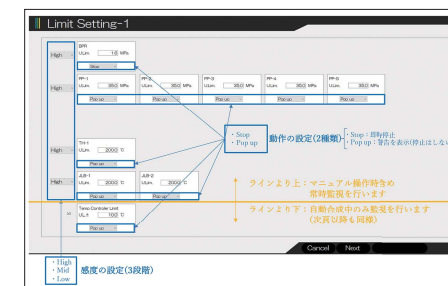
【設定可能】
・滞留時間
・試薬濃度
・試薬のモル比

2. Limit の設定により、異常を検出した際の [警告]、または [停止] の設定が可能

異常を検出すると、[警告] か [停止] のどちらかを画面上に表示するかの設定が可能。

警告 ⇒ すぐに停止してしまうと危険な反応を回避できます。
停止 ⇒ すぐに中止できます。

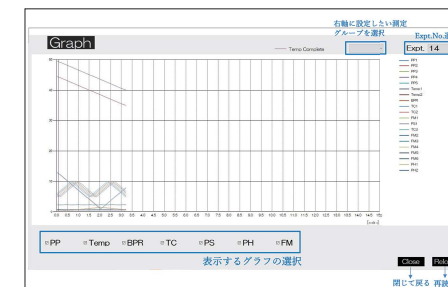
感度は【High】【Mild】【Low】の 3 段階から選択できます。



3. 詳細グラフをソフト上で記録、表示が可能

合成中のさまざまな数値（液温、背圧、流速など）を記録します。

- ・各機器の表示選択
- ・グループの絞り込み
- ・前後の過去グラフの閲覧、切り替え



■FC Plate の表示

自動合成画面から、合成後のコレクト位置が色付きで確認できます。

各実験ごとに色が切り替わるため、連続で合成した場合でもコレクト位置を見失いません。

